安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品の名称	: カビウォッシュSP
製品コード	: 0330001
会社名	: フジワラ化学株式会社
住所	: 〒799-1342 愛媛県西条市大新田94
担当部門	: フジワラ化学株式会社　社長室
作成者	: 矢野正徳
電話番号	: 0898-64-2421
FAX番号	: 0898-64-4034
E-mail	: info@fujiwara-chemical.co.jp
緊急連絡先	: 担当部門に同じ
製品の種類	: 工業用保存剤
推奨用途及び使用上の制限	: 壁面のカビ洗浄

2. 危険有害性の要約

分類の名称(分類基準は日本方式)　: 急性毒性物質、引火性液体

【GHS分類】

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分2
急性毒性	経口	: 区分外
	経皮	: 区分5
	吸入:ガス	: 区分に該当しない
	吸入:蒸気	: 区分に該当しない
	吸入:粉塵, ミスト	: 区分に該当しない
皮膚刺激/腐食性		: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分2
呼吸器感作性	固体/液体	: 区分に該当しない
	気体	: 区分に該当しない
皮膚感作性		: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性		: 区分1
発がん性		: 区分に該当しない
生殖毒性		: 区分に該当しない
授乳に対する又は授乳を介した影響		: 区分に該当しない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		: 区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		: 区分1
誤えん有害性		: 区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)		: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)		: 区分に該当しない
オゾン層への有害性		: 区分に該当しない

【GHSラベル要素】

・



危険

【危険有害性情報】

・引火性の高い液体および蒸気
・皮膚に接触すると有害のおそれ
・皮膚刺激
・強い眼刺激

安全データシート(SDS)

・遺伝疾患のおそれ
・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
・臓器(中枢神経系・視覚器・全身毒性・腎臓)の障害
・気道刺激性のおそれ、または麻酔作用のおそれ
・長期または反復暴露による臓器(中枢神経系・視覚器腎臓・肝臓)の障害
・長期または反復暴露による臓器(神経・血管・肝臓・脾臓)の障害のおそれ
・飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
・水生生物に毒性

【注意書き】
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉して涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
・呼吸用保護具/保護手袋/衣類及び保護眼鏡/保護面を着用すること。
・取扱い後はよく手を洗うこと。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
・容器および受器を接地すること／アースをとること。
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
・火花を発生しない工具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
・皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
・気分が悪いときは、医師に連絡すること。
・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
・目に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
・必要に応じて個人用保護具を使用すること。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
・環境への放出を避けること。
・内容物や容器、塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　:　混合物

成分名	化学式	含有量	官報公示No(化審法)	CAS No.	備考
有機窒素硫黄ハロゲン化合物	非公開	非公開	非公開	非公開	
イソプロピルアルコール	C3H8O	約13%	2-207	67-63-0	
エタノール	C2H6O	約85%	2-202	64-17-5	
メタノール	CH4O	約1.1%	2-201	67-56-1	

4. 応急措置

安全データシート(SDS)

吸入した場合
・患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
・呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合
・汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
・製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。
・石鹸を使ってよく落とす。
・外観に変化が見られたり、痛みが続いたりする場合は直ちに医療処置を受ける手配をする。
目に入った場合
・清浄な水で最低15分間眼を洗浄したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。
・洗顔の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合
・無理に吐かせてはならない。
・ただちに医療処置を受ける。
・水でよく口の中を洗わせてもよい。
・意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

使用可能消化剤
水[　]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[　　]

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
・風上から作業し、風下の人を退避させる。
・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
・作業の際には必ず保護具を用いる。
環境に対する注意事項
・流出した製品や汚染された排水が河川等に排出しないように注意する。
・河川、湖沼へ流出した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関係部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡すること。
除去方法
・少量の場合　：乾燥砂、土、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて空容器に回収する。
・多量の場合　：土砂などでその流れを止め、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。
二次災害防止
・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い
・技術的対策　　火気厳禁。
火花、静電気、衝撃火花等による着火源が生じないように注意する。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。
・注意事項　　漏洩を防止する。
安全取扱い注意事項
・接触・吸入を防止するため、適切な保護具を着用する。

安全データシート(SDS)

保管
- 適切な保管条件　火気厳禁。
- 直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料　ポリエチレン等を使用する。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度　：400ppm以上

許容濃度

設備対策
- 屋内作業での使用の場合は局所排気装置を設置する。
- 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具
- 防毒マスク(有機ガス用)、保護手袋、保護眼鏡または防災面、長靴などを使用する。

9. 物理的および化学的性質

状態	：液体
色	：無色透明
臭気	：特有の臭気
pH	：情報なし
融点	：情報なし
凝固点	：情報なし
沸点	：情報なし
引火点	：14℃
発火点	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
爆発限界	：情報なし
蒸気密度	：情報なし
密度(比重)	：0.74～0.84(25℃)
溶解度	：情報なし
分解温度	：情報なし
その他	：情報なし

10. 安定性および反応性

安定性　：通常の条件で安定である。
反応性　：特になし。
危険有害な分解生成物　：情報なし

11. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

急性毒性
- LD_{50}　：＞5000mg/kg（ラット）（推定値）

安全データシート(SDS)

局所効果
- 刺激性(皮膚)　刺激性あり。(推定)
- 刺激性(眼)　刺激性あり。(推定)

12. 環境影響情報
- 生態毒性　魚毒性TLm(96時間) 7.1ppm (ニジマス) (推定値)

13. 廃棄上の注意
- 焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意
輸送の特定の安全対策及び条件
- 容器の破損、漏れの無いことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国連分類及び国連番号 :国連分類 3 国連番号 1993

15. 適用法令
- 消防法 第2条危険物第4類アルコール類、危険等級Ⅱ
- 労働安全衛生法 第57条 表示物質 安衛施工令 第18条 名称等を表示すべき有害物
  No. 36 メタノール(約1. 1%) No. 3 イソプロピルアルコール(約13%)
- 労働安全衛生法 施工令別表第9条通知対象物 No. 406(トルエン)
  No. 61 エタノール(約85%) No. 494 イソプロピルアルコール(約13%)
  No. 560 メタノール(約1. 1%)
- 船舶安全法 危告示 別表第5 引火性液体類 引火性液体
- 毒物及び劇物取締法 第2条別表第2劇物 No. 83 メタノール
  大気汚染防止法 第10条第6号 メタノール

16. その他の情報
主な引用文献
- (社)日本塗料工業会編 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用(塗料用)〕」第3版
- (社)日本塗料工業会編 「製品安全データシート ガイドブック」 第4版 追補版
- (社)日本塗料工業会編 「MSDS用物質データベース」 第4版 追補版
- 化学工業日報社 「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「化学品別 適用法規総覧」 増補新版
- 化学工業日報社 「実務者のための化学物質等法規制便覧」 改定第2版
- (社)日本塗料工業会編 「塗料原料便覧」
- 化学工業日報社 MSDS用語集
- NITE[独立行政法人 製品評価技術基盤機構] http://www.nite.go.jp/index.html
- 日化辞Web[独立行政法人 科学技術振興機構(JST)]
  http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html
- 原材料メーカーのMSDS、SDS

安全データシート(SDS)

［注意］

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。